

7月例会報告 「白神岳 1,235m」 深浦町

担当：会津 エリ子

期日： 2021年7月24日（土）5時～

参加： 櫻田正行、福田英雄、白戸美和子、会津エリ子、後藤悦子、葛西直子、山下セロ

今回の山行は、7月22日～24日 北海道の「樽前山」の予定をコロナ禍の為、他県への移動自粛で変更になりました。

5：00サンピアを7名載せたレンタカー櫻田会長の運転で出発。外気温20℃超えている。朝早い集合だったのでハンドルを握っている会長には申し訳ないが、座席で間に合わせの朝食を済ませる。6：26道の駅「風合瀬」でトイレ休憩。7：20登山口駐車場着10台以上整然と並んでいる。 県外ナンバーもあつたらしい。

身支度とトイレを済ませ7：37登山開始。8：18二股分岐。9：22水場。冷たく美味しかったが、ここから登りがきつくなる。

?：?マテ山 設置されているロープやチェーンにつかまりながら両手両足をつかい「よっころしょ」の掛声を自分自身でかけながら登る。12：30大峰分岐、林間の中をあるいているときは晴れていたが、尾根にでると海側からガスが掛かってきて頂上からの展望は期待できないかもしれない。



二股分岐の水場、冷たく美味しかった



身支度とトイレを済ませ7：37登山開始



12：50白神岳避難小屋着。2、3年前にクラウドファンディングでリニューアル、まだ新しい木の香が残っていた。避難小屋そばに設置されている木製の大きなテーブル?（椅子?）の所で昼食。食後は美味しい櫻田コーヒーと、それに合うお菓子を味わった後頂上へむかう。13：30白神岳頂上着。一等三角点にタッチ。休んでいた男性に記念撮影のシャッターを押してもらう。天候は悪くなかったが見晴らしを楽しむ余裕もなく13：35下山開始後間もなくパラパラと雨がこぼれてくる（福田さん曰く「狐の嫁入り」）が間もなく止む。

苦勞して登った所を下るのに岩に足が届かず、行きは良い良い、帰りは怖い状態で時間がかかってしまった。15：25登山口まで3.35キロ。16：00水場 到着。水も飲んだが、両手で顔をびしゃびしゃ洗ってさっぱり。16：45 登山口まで1.4キロ。17：25駐車場へ無事到着。私達が乗ってきたレンタカーの他3台残っていた。

18：00～18：30不老不死温泉で汗を流す。18：40温泉出発。海岸に沿って走らせる車の中から日本海に沈むサンセットの短いショーに大感激。あたりが暗くなり夜空に浮かぶお月様の赤銅色にも驚く。20：30サンピア到着。 櫻田会長には、先月例会の長距離運転に続き、今回も往復一人で運転していただきまして誠にありがとうございました。

1回の山行で 今まで飲んだことの無い多量の水分を摂取し、発汗の量も尋常でなく、休憩のたびにタオルをしぼる福田さん、飲んだ以上に出ているのでわ? 温泉の脱衣所で早く入りたくても汗で衣類が引っ付き脱ぐにも一苦勞した。

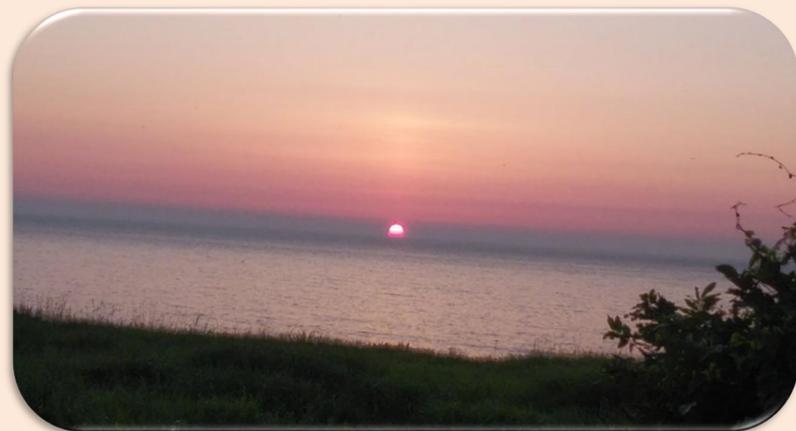
記録を採るため、メモ用紙を出し入れしているうちに汗でボロボロになってしまい一部判読不能

いつの日か白神岳に登るときは、前泊をして、金鮎をたべてみたいです。皆さんお疲れ様でした!

レポート by 後藤



休んでいた男性に記念撮影のシャッターを押してもらおう。天候はまずまずで見晴らしを楽しむ



日本海に沈むサンセットの短いショーに大感激

8月例会案内 「岩木山 1,625m」 弘前市 担当：櫻田 正行

- 1. 日時：8月21日（土） 6：00～
- 2. 場所：サンピア集合
- 3. 移動：レンタカー
- 4. 会費：2,500円（8名以上参加の場合）
- 5. 締切：8月14日（土）
- 6. 申込：白戸三和子さん 017-718-1574
：電話での申込みは17時迄
- 7. その他：お風呂グッズの準備
：ルートは嶽コース

独立峰だけに、登山コースは四方からあるが、岩木山神社からの奥宮登拝道が代表的なコースとして昔からよく踏まれてきた。しかし、有料観光自動車道路「津軽岩木スカイライン」の開通以後、徒歩で山頂を極める登山者は減少している。いずれの登山コースも下降時に利用される例が多い。

所要時間は、岩木山神社のある百沢口からの場合、山頂まで約4時間。途中、標高1067m地点の焼止避難小屋を過ぎて「大沢」に入ると、8月ごろまで上部に雪渓が残っており、景観も高山的だ。

青森県の最高峰。中津軽郡岩木町（現在は弘前市）に位置し、山容が円錐形であることから津軽富士の別名がある。津軽農民の信仰の山で、ふもとの岩木山神社では毎年旧暦8月1日には「お山参詣」という津軽地方最大の農作祈願祭が行われる。このお山参詣は国の無形重要民俗文化財に指定されている。